

「グローバルな人材に」

男鹿海洋高 創立20周年祝い式典



男鹿海洋高校（浅野博之校長、109人）の創立20周年記念式典が2日、男鹿市船川港の同校で開かれた。生徒や学校関係者ら約230人が節目を祝い、海洋系をはじめ各分野で活躍できる人材の育成に向け、一層の発展を誓い合った。

浅野校長は式辞で「効果的な指導について研究を進め、

創立20周年式典で校歌を斉唱する男鹿海洋高の生徒

の知恵や働きで姿を変え、現在の学校に発展した。地域に貢献し、グローバルな人材になれるように日々精進する」と述べた。最後に全員で校歌を斉唱した。

式典後、長崎大学の山口敦

（阿部拓郎）

子教授が「生態系アプローチに基づく海の環境と生物多様性」と題して記念講演したほか、男鹿海洋高校郷土芸能部がなまはげ太鼓を披露した。同校は2004年、普通科系の男鹿高校と水産科系の海洋技術高校が統合して誕生した。